

第458号案件(債権放棄等による債務圧縮)

～メインバンク及びRCCによる債権放棄&商工中金によるDDS～

石油製品販売業

資本金:4,900万円
 売上高:72億円
 従業員:203名

燃料事業を取り巻く環境の変化による価格競争の激化、海外事業の失敗による不良債権の増加により過剰債務の状況。
 遊休資産の含み損もあり実質債務超過の状況。

中小企業再生支援協議会

相談
支援要請

計画策定支援

協議会が主要仕入先に再生スキームを説明し、協力を要請
 私的整理ガイドラインに準じて金融機関調整を実施し、実現可能性の高い再生計画の作成を支援
 国税局に対して客観的な立場で債権放棄の合理性、衡平性を説明

【再生計画】

- メインバンクが
貸出債権の一部を直接放棄
RCC債権を肩代わり
- RCCが債権の一部放棄
- 商工中金がDDSを実施
- 主要仕入先によるDESを実施

・販売戦略の構築と採算別の選択と集中
 ・遊休不動産の売却
 ・株主責任の明確化(100%減資)
 ・経営責任の明確化(経営者による私財提供)
 ・メインバンク、商工中金によるリスケジュール

**債務圧縮により、2年で
実質債務超過を解消**

金融機関が債権放棄
 を実施した金額は税務
 上損金算入が可能

効果

・地域の雇用確保(203人)